

RI 装置

RI 検査とは

放射線（ガンマ線）を放出する極めて微量な放射性同位元素（Radioisotope,略して RI）と呼ばれる薬を体内に投与し、放出される放射線をガンマカメラという専用の装置を用いて検出し、画像を表示する検査です。

RI 検査は短時間で全身の検索が可能であり、血流や代謝といった各臓器の機能情報も得られます。

使用装置について

SIEMENS 製

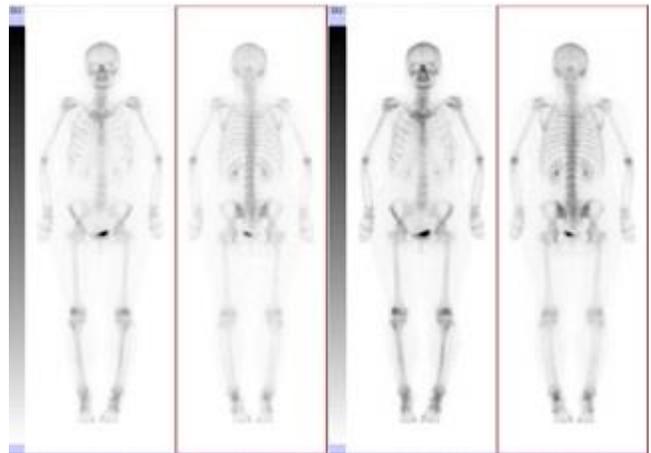
Symbia Evo Excel（91 核医学検査室）



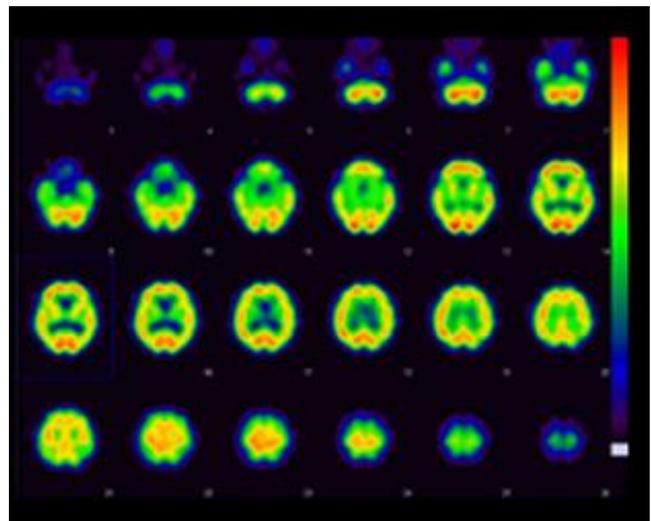
特徴

- ・高感度フルデジタル検出器搭載
高感度・高分解能での短時間撮像やコントラストに優れた画像を提供可能です。

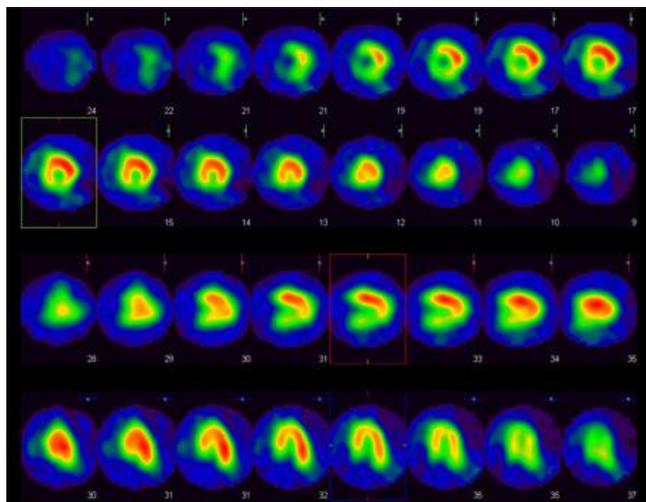
- ・骨シンチ
(がんの骨転移や腫瘍、炎症性疾患の検索)



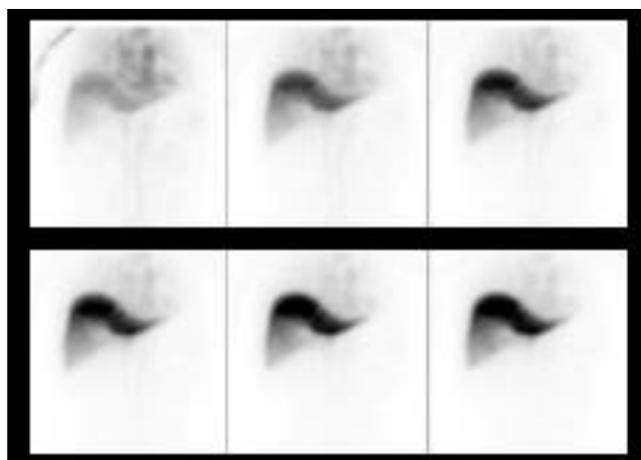
- ・脳血流シンチ
(脳梗塞、認知症、てんかんなどの診断)



- ・ 心筋シンチ
(心筋の血流、エネルギー代謝を調べ、心筋の活動状態を画像化)



- ・ 肝シンチ
(肝臓の形態、肝機能の評価)



その他様々な検査を行っています。

検査の流れ

- ① 91 核医学検査室にご案内します。
- ② 薬を注射します。薬が集まるまでの時間が臓器によって違うため、検査ごとに撮影のタイミングや時間が違います。検査によっては食事制限などの前処置が必要なこともあります。
- ③ 検査自体は仰向けで寝た状態で行い、30分~1時間かかります。検査によっては時間をあけてから再度撮影が必要なものもあります。

体内に投与された薬は時間と共に弱くなり、尿や便として排出されるため、被ばくは少なく、安全な検査です。薬としての副作用も少なくなっています

RI 検査を受けるにあたって、次のような方において検査ができない場合がありますのであらかじめ担当者にお知らせ願います。

- ・ 妊娠中またはその可能性のある女性
- ・ 授乳中の女性
- ・ 乳幼児がいる方